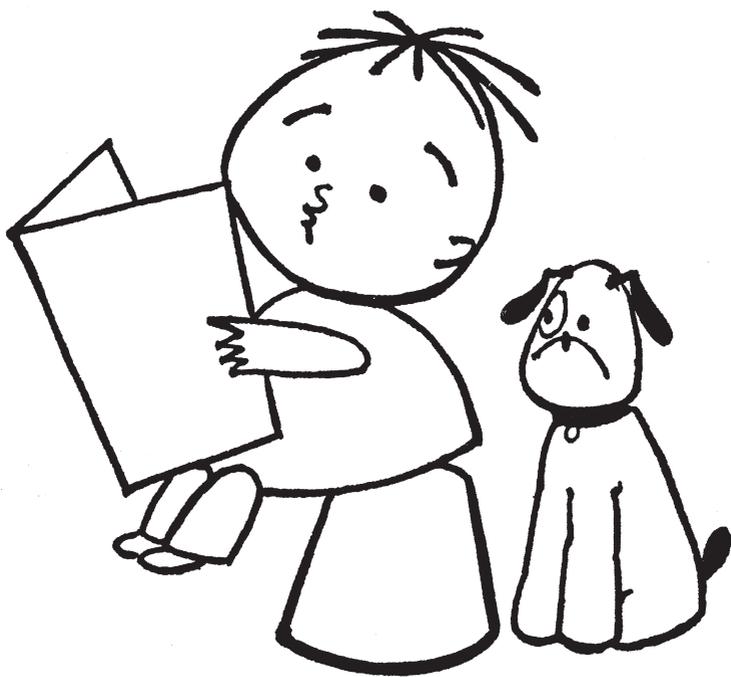


読んでごらん
おとしりいよ



2014

図書目録「読んでごらんおもしろいよ」2014(49号)をおくります。

このなかにある本のほかにも、おもしろい本、楽しい本が、たくさんあると思いますが、みなさんがどんな本を読もうかなとまよったとき、この目録を役立ててください。

これらの本は市立図書館や、みなさんの学校図書館にもあります。

この目録を利用するために

1. 平成25年(2013年)に発行された本の中から、絵本と読みものを中心に75点選んでいます。
2. 配列は対象別に、書名の50音順になっています。
3. 対象別にわけてありますが、これはめやすです。
4. 目録は書名・著者・出版社・頁数・大きさ・本体価格の順に書いてあります。
5. 本体価格は平成25年(2013年)12月現在のものです。

2014.7.1

(5) おによりつよいおよめさん

井上よう子 作 吉田尚令 絵
岩崎書店 32P 27×22cm 1,300円〔創作絵本〕

やまのおくに、らんぼうなおにがすんでいた。「よめをもらうべ！」とおもいつき、やまをおりて、むらいちばんのおなごをよめにもらった。おには、よめにめしたきやせんたくをさせようとおもったが、よめはだいのにがて。おこったおには…。

(6) かたつむりのひみつ

黒住耐二 監修 武田晋一 写真
ひさかたチャイルド 27P 21×24cm 1,200円〔写真絵本〕

かたつむりがどんないきものかしてる？おおきなつので、はなれたはっぱをちゃん！どれくらいはなれているかたしかめて、ちゃんとわたれるよ。じまんのからのまんなかからぐるぐるたどれば、なんかいとうみんしたかもわかるんだ。

(7) ハナちゃんのとまと

市川里美 作
B L 出版 32P 28×22cm 1,400円〔創作絵本〕

ハナちゃんがだいじにそだてた、とまとのなえ。なつやすみに、おばあちゃんのうちにもっていった。おばあちゃんがはたけにうえると、どんどんのびて、ちっちなみがついた。あるひ、そらがまっくらになり、たいふうがやってきた。

(8) バナナのはなし

伊沢尚子 文 及川賢治 絵
福音館書店 27P 26×24cm 900円〔知識絵本〕

バナナはひざしがつよくたくさんあめがふるところでそだつ。めはいちねんでみあげるほどのたかさになる。てっぺんのはとはのあいだから、むらさきのふくらんだほうのびてきた。ほうのうちがわには…ちいさなバナナがならんでいる。

(9) ピエロのあかいはな

なつめよしかず 作
福音館書店 44P 24×26cm 1,300円〔創作絵本〕

かいてんまぢかのサーカスのがくや。ピエロがくしゃみをしたひょうしに、トレードマークのあかいはながとんでしまう。そこへやってきたねずみのチュチュが、さかだちしてはなにとびのりそとへでた。そこには、クモざるくもすけが…。

(10) **ふしぎなボジャビのき** —アフリカのむかしばなし—

ダイアン・ホフマイアー 再話 ビート・フロブラー 絵 さくまゆみこ 訳
光村教育図書 25P 28×22cm 1,400円〔昔話絵本〕

たべものをさがしていたどうぶつたちは、あかひみがたくさんついたきをみつけた。でも、おおきなへびがまきつき、とることができない。へびは、きのなまえをいえば、みをとらせてくれるという。どうぶつたちは、なまえをしらない。

(11) **もう、おおきいからなかないよ**

ケイト・クライス 文 M・サラ・クライス 絵 福本友美子 訳
徳間書店 32P 26×21cm 1,400円〔創作絵本〕

うさぎくんはもうすぐ5さい。おたんじょうかいには、おおきくてなかないこをよぶんだ。だって、なくのはあかちゃんのすることだから。でも、ともだちのりすちゃんも、うまさんも、もうおおきいけど、なくこともあるんだって。

(12) **やさしいかいじゅう**

ひさまつまゆこ さく・え
富山房インターナショナル 32P 22×31cm 1,600円〔創作絵本〕

くろいからだにぼっさぼさのたてがみ。もりにいる6ぼんあしのかいじゅうは、どうぶつに「へんないきもの」といわれ、さびしくてまいにちなっていた。「どうしたの?」とこえがし、ふと、したにめをやると、きのめがはなしかけていた。

(13) **ゆきうさぎのねがいごと** —クリスマスのちいさなおはなし—

レベッカ・ハリー え 木原悦子 やく
世界文化社 32P 28×26cm 1,300円〔創作絵本〕

ゆきうさぎのピートくんはひとりでもりのおくにすんでいた。ピートくんにはねがいごとがあって、サンタさんにおてがみをかいた。ポストにいくと、ゆうびんはいたつのこまどりはとびたつたところだった。「そうだ、じぶんでとどけよう」

(14) **よいこはもうねるじかん**

高島じゅん子 さく 高島純 え
B L 出版 32P 28×18cm 1,300円〔創作絵本〕

たまちゃんがねていると、「さむくてねむれやしない。おふとんいれて」とねこのミーヤがやってきた。そこへ、ツクエくとけんかしたイスちゃん、おなかがすいたそうじきさん…。みんなねむれず、つぎつぎにふとんにはいつてきた。

(19) おかし

なかがわりえこ ぶん やまわきゆりこ え
福音館書店 39P 26×20cm 1,300円〔菓子〕

おかしがあるとうれしくなるよ。いやなことも、ぜんぶわすれるくらい。めのまえにおかしがあれば、べんきょうでもおてつだいで、やるきがでるよ。おかしのうちからは、たいしたもの！「フレー、フレー」とおうえんしてくれるみたい。

(20) 鬼まつりの夜

富安陽子 作 はせがわかこ 絵
講談社 74P 22cm 1,000円〔日本文学〕

節分の夜、ケイタは「鬼ごっこするもん、よっといで。」と、だれかが歌う声で目が覚め、外へ出た。歌っていたのは赤鬼のバキ。バキに連れられて、ケイタは「鬼まつり」に参加することになった。「節分おめでとう」って、どういうこと？

(21) こぎつねボック

いまむらあしこ 作 鎌田暢子 絵
文研出版 78P 22cm 1,200円〔日本文学〕

ボックは、なんでもやってみたがるおとこの子。くさととりし、せんたくものもとりにれた。おてつだいたのに、もうやらなくていいって。くやくてたまらない。そのうえ、おねえちゃんが、ボックのおねしょのことまでいいたした。

(22) さかさまになっちゃうの

クレア・アレクサンダー さく 福本友美子 やく
B L 出版 24P 25×30cm 1,400円〔絵本〕

アルフィーは、じをかこうとするとうまくかけない。「どうしよう、おしえてもらいたいけどみんながわらうかもしれない。」なみだをながすアルフィーに、やさしくジャックはいった。「だれだって、わからないことはきいてもいいんだよ。」

(23) しあわせなワニくんあべこべの1日

神沢利子 作 はたこうしろう 絵
ポプラ社 31P 23×23cm 1,300円〔絵本〕

大すきなモモコさんとはじめてのデートの日。きょうがあべこべの日だったワニくん。なんでもあべこべになる日なら、お昼には空に星がぴかぴかひかる！わあ、なんてロマンチック。すっかりしあわせな気分ですっかりかけたワニくんだが…。

(24) しろうさぎとりんごの木^き

石井睦美 さく 酒井駒子 え
文溪堂 32P 27×22cm 1,500円〔絵本〕

このはるにうまれたばかりのしろうさぎ。りんごのジャムつきパンをはじめてたべて、^め目をまるくした。「りんごの木^きが、こんなにおいしいなんて。さっそくあした、かじってみよう。」^め目をつむるけど、あしたがまちどおしくてねむれない。

(25) それならいいえありますよ

澤野秋文 作
講談社 32P 27×22cm 1,400円〔絵本〕

のらねこのちゃまるは、すみたいいえをさがしてくれる。ちらかしほうだいのぎんたは、「かたづいてきれいないいえ」をたのんだ。ちゃまるは、なかなかこない。それどころか、「きたないいいえをおしえろや。」というおそろしい^{こえ}声^{こえ}がきこえてきた。

(26) どこかいきのバス

井上よう子 作 くすはら順子 絵
文研出版 70P 22cm 1,200円〔日本文学〕

おかあさんに、たからもののせみのぬけがらをすてられた。ばかばかばかっ。^{いえ}家をとびだしてのった《どこか》いきのバス。なんだかようすがおかしい。うわっ、バスがしゃべった！「ぼかあ、きみをのせてどこだっていっちゃうよ。」

(27) ねこのかんづめ

北ふうこ 作 鴨下潤 絵
学研教育出版 58P 23cm 1,300円〔日本文学〕

このごろ^{げんき}元気がない、たくやくんちのねこのトラキチ。^{げんき}元気になることまぢがいない^なねこのかんづめを5つ買ってきた。キコキコキコ…ぽあん。一つあけると、中からとびだしてきたのは、まっ白^{しろ}の子ねこ。「ようし、ぜんぶあげちゃおう。」

(28) ひまわり

荒井真紀 文・絵
金の星社 32P 25×22cm 1,200円〔絵本〕

たいようのようにおおきなひまわりのはなは、おおきいはなびらのあるはなと、つぶつぶのようにみえるちいさなはなが、あつまってできている。そのはなのひとつひとつがたねになる。いっぽんから2000こものたねがとれることも。

(33) ^{たんていけん}探偵犬スコットと^{なかま}仲間たち

正岡慧子 作 福田岩緒 絵
P H P 研究所 143P 22cm 1,300円〔日本文学〕

ぼくはスコット。ポーターコリーだ。^{しょうた}翔太との^{さんぽ}散歩の^{ちゆう}中、^{えきまえ}駅前の^{おおどお}大通りに
出たところでだれかがむりやり車にひきずりこまれているところを見た。なん
だか引っかかる。^{じけん}事件かも…。ぼくは^{れいせい}冷静に、^{はな}地面に鼻をつけてたしかめた。

(34) にじ・じいさん ― にじはどうやってかけるの? ―

くすのきしげのり 作 おぐらひろかず 絵
B L 出版 86P 22cm 1,200円〔日本文学〕

遠い遠い山おくに住む、にじ・じいさん。空にかかるにじは、^{ぜんぶ}全部このじい
さんがかけていた。なのに、もうやめた。空がよごれたからって。でもね、じいさん。
にじがかかると、まっている子がいるんだよ。ほら、たんざくにかいてある。

(35) ネコがすきな船長のおはなし

インガ・ムーア 作・絵 たがきょうこ 訳
徳間書店 48P 30×26cm 1,800円〔絵本〕

船にたくさんのネコをのせ、^{たび}旅に出たネコ船長。ようやくたどりついた島は、
たくさんのネズミにこまりはてていた。はじめて、ネズミをたいじするネコたち
を見た島の女王さまは「みごとだわ。ネコっておりこうなのね。」と声をあげた。

(36) ^{ゆうびん や}ねこの郵便屋さん

中村翔子 作 たごもりのりこ 絵
俊成出版社 95P 22cm 1,300円〔日本文学〕

気まぐれにやって来るねこに、ミルクと^{なづ}名付けたおじいさん^{ふうふう}夫婦。ごはんを作っ
たり^{しゃしん}写真をとったり…かわいくてしかたがない。ずっとここにいればいいのに。そ
こで、ミルクの首に手紙をつけた。「このねこ、^かどなたか、飼われていますか。」

(37) ネバーギブアップ!

くすのきしげのり 作 山本孝 絵
小学館 126P 21cm 1,200円〔日本文学〕

うですもう大会をすることになった4年3組。クラスで一番弱いジュンを、^{たん}担
^{にん}任の山下先生は^{はげ}励ました。「あきらめないで^{れんしゅう}練習を続ければ、ぜったい強くなれる。
る。」ジュンは、毎朝6時から1時間、先生と公園でトレーニングすることにした。

(38) のねずみポップはお天気はかせ

仁科幸子 作・絵
徳間書店 74P 22cm 1,400円〔日本文学〕

のねずみポップのお母さんは、森のお天気はかせだった。ある日、お母さんのお天気ノートを見て、天気予報の勉強をはじめたポップは、たいへんなことに気がついた。森に季節はずれの台風がちかづいているのだ。みんな、早くにげるんだ！

(39) はりねずみのルーチカ

かんのゆうこ 作 北見葉胡 絵
講談社 114P 22cm 1,200円〔日本文学〕

「ぼくはルーチカはりねずみ あたまのうえにりんごをのせて あるいていくよどこまでも」あかすぐりのみをとって、おいしいジャムをつくるんだ。みんなにたべさせてあげたいな。そうだ、こんどパーティをするときにもっていこう。

(40) 魔女がまちにやってきた

村上勉 作
偕成社 42P 22cm 1,200円〔日本文学〕

山にすむ371さいの魔女が、町にひっこしてきた。魔女はつぎつぎと町のお店をのぞいたが、もっているコインは2まい。「あんなふくきてみたいもんだねえ。ああ、じてんしゃがあったら…」すると、みかねたホウキがからだをふるわせ…。

(41) め牛のママ・ムー

ユイヤ・ヴィースランデル 文 トーマス・ヴィースランデル 文
スヴェン・ノードクヴィスト 絵 山崎陽子 訳
福音館書店 109P 22cm 1,600円〔外国文学〕

め牛のママ・ムーは自転車にのり、カラスのクロくんのいる森へむかった。いやがるクロくんに、むりやりたのんでブランコを作ってもらったんだ。今度は、木の上に小屋をたてたいの、クロくん。次は、すべり台にのぼりたいわ。ええっ？

(42) もしも宇宙でくらしたら

山本省三 作 村川恭介 監修
WAVE出版 32P 25×22cm 1,300円〔絵本〕

かぞくで宇宙ステーションにひっこした。高いとびばこも、足もとをかるくけるだけでとべる。うかせたシャツにとびこんできがえることもできる。サラダはとびぢらないように袋入り。本もノートもふわふわうくよ。宇宙って、ふしぎ。

(43) もののけ温泉^{おんせんたき}滝^ゆの湯へいらっしやい

佐々木ひとみ 作 jyajya 絵
岩崎書店 115P 22cm 1,300円〔日本文学〕

ママが入院中の夏^{にゅういん}休み、かえではおばあちゃんがやっている温泉^{おんせんりよかん}旅館・とらや
でくらすことになった。暇^{ひま}をもてあまして、パパのお気に入りの共同浴場^{きょうどうよくじょう}・滝^{たき}
湯^ゆへ行った。「休憩^{きゅうけいちゆう}中」だったが水音がする。「こんばんは〜」…けど、答えはない。

(44) やさしい大おとこ

ルイス・スロポドキン 作・絵 こみやゆう 訳
徳間書店 62P 22cm 1,700円〔外国文学〕

山の上^{やまのうへ}にすんでいる、花のすきな心のやさしい大おとこ。谷間の村人たちととも
だちになりたくて、ときどき村へおりてくる。でも、わるいまほう^{つが}使いにだま
された村人たちは、大おとこをこわがって家の中にかくれてばかり。ところが…。

(45) わたしのひよこ

礒みゆき 文 ささめやゆき 絵
ポプラ社 149P 21cm 1,000円〔日本文学〕

4年生になって1か月。なかよしがグループもいくつかできて、リーダー^{てき}的な人
はめだっている。なかでも、ナオミちゃんは美人^{びじん}で勉強^{べんきょう}も運動^{うんどう}もできて、将来^{しょうらい}の
夢^{ゆめ}は女優^{じょゆう}。女子^{おんな}をひきつけて女王^{きんぐ}様^{やま}みたい。めだたないわたしは特技^{とくぎ}も夢^{ゆめ}もない。

❖ 小学5・6年生から ❖ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

(46) 江戸のお店屋さん

藤川智子 作
ほるぷ出版 39P 29×22cm 1,400円〔商店・江戸〕

ここは江戸時代の大通り。小間物屋^{こまものや}、薬種屋^{やくしゅや}、地本問屋^{じほんとんや}…。いまとよび名はち
がっても、お店のなかをのぞいてみれば、なんのお店かわかるはず。小間物屋^{こまものや}には、
元結^{もとゆい}、丈長^{たけなが}、びん出し^だしなど、髪^{かみ}を結^ゆうのに使う、いろいろな道具^{たぐひ}があった。

(47) ガチャガチャ☆^{ガ ッ チ ャ}GOTCHA! —カプセルの中の神さま—

宮下恵菜 作 宮尾和孝 絵

朝日学生新聞社 220P 22cm 1,000円〔日本文学〕

「どうか、きれいな字が書けますように！」目をつむって、^{ぜんしんぜんれい}全身全霊をこめて^{いの}祈る。
「ん？」目を開けたら、スーパーの前にカプセルトイの^{きかい}機械が^{なら}並んでいた。私は1
台に^す吸いよせられるように^{なや}近づいていった。「どんな^{いっぼつかいしょう}悩みも一発解消！1回百円。」

(48) ^{ひみつ}木かげの秘密

浅野竜 作 杉田比呂美 絵

学研教育出版 167P 20cm 1,300円〔日本文学〕

「生き物係だろ。ちゃんと世話したのかよ。」^{はづき}葉月はクラスメートにどなられた。
するともう一人の生き物係の中井君が、うかんだ^{ろうか}金魚を空きかんに入れて廊下へ
出て行った。数日後、^{はづき}葉月は校庭の工ノキの木のくぼみで光るものを見つけた。

(49) ^{こまいぬ さすけ}狛犬の佐助 —迷子の巻—

伊藤遊 作 岡本順 画

ポプラ社 186P 19cm 1,300円〔日本文学〕

^{あけのじんじゃ}明野神社の2頭の^{こまいぬ}狛犬を、^{いしく おやかた}石工の親方と^{でし さすけ}弟子の佐助が彫ったのは150年前。人
生で最後の仕事だった^{おやかた}親方と最初の仕事だった^{さすけ}佐助の^{たましい}こめすぎた魂が残っている
からか、2頭は今もおしゃべりをしている。^{さすけ}佐助が今日も待っているのは…。

(50) 3人のパパとぼくたちの夏

井上林子 著 宮尾和孝 絵

講談社 196P 20cm 1,300円〔日本文学〕

終業式をおえて家に帰ったら、洗われていないぎとぎとの皿に、^{せんたくき}洗濯機の中でだ
んごになった^{せんたく}洗濯もの、捨てられていないゴミぶくろ。父さんは二人で決めた家事
当番をサボりすぎだ！！「家出します。」ぼくは、手紙をのこし自転車をとばした。

(51) ともだちは、サティー！

大塚篤子 作 タムラフキコ 絵

小峰書店 182P 20cm 1,400円〔日本文学〕

5年生のツトムが、夏休みにネパールの^{ひょうが}氷河を調査する父たちとやってきたの
は、電気も水道も通っていないヤラ村。ツトムは村の子・パニと二人で、数日間
山へ牛とヤギの^{ほうぼく}放牧へ行くことになる。しゃべれるネパール語は「ナマステ」だけ。

(52) なんちゃってヒーロー

みうらかれん 作 佐藤友生 絵
講談社 189P 20cm 1,200円〔日本文学〕

ヒーローなんて幼稚園で卒業だと思っていたけど、6年生のオレの血潮の中にはヒーローへのあこがれや正義の魂が残っていた。「いっそ、作るか。ヒーローX」「やろうぜ特撮」「かっこいいよなあ」結成！蒲生特撮隊。教室でスタートした。

(53) パンプキン・ロード

森島いずみ 作 狩野富貴子 絵
学研教育出版 183P 20cm 1,300円〔日本文学〕

6年生の早紀の目にはいったのは、おじいさんのごつごつした岩のような足だ。——ママが東日本大震災で行方不明になり、早紀はおじいさんと暮らすことになった。おじいさんは病気で亡くなったとママは言っていたのに…。どうして？

(54) ひみつの花便り

田村理江 作 高山まどか 絵
国土社 143P 22cm 1,300円〔日本文学〕

「手紙より、やっぱメール。二人ともケータイ持てばいいのに」紗彩は言う。「ケータイって高いし…」と七海。花音も急いでうなずく。家にもどると、郵便受けに花音あての手紙が1通あった。封を切ると、甘いバラの香りが広がった。

(55) ふしぎ駄菓子屋銭天堂

廣嶋玲子 作 jyajya 絵
偕成社 149P 19cm 900円〔日本文学〕

幸運をもとめる選ばれた人だけが、見つけられる駄菓子屋「銭天堂」。泳げるようになりたい真由美は、おかみの紅子がすすめる「型ぬき人魚グミ」を買って食べた。次の日、プールの前に立ったとたん、もうれつに水の中に入りたくなった。

(56) べんり屋、寺岡の夏。

中山聖子 作
文研出版 167P 22cm 1,300円〔日本文学〕

おじいちゃんが病気で死んで一人残されたおばあちゃんを心配して、家族で尾道に引越してきたわたし。お父さんは売れない画家だ。生活のためにお母さんはべんり屋をはじめた。近所に住む人たちの買い物代行や犬の散歩が仕事の大半だ。

(57) みんなの家出

藤田のぼる 作 早川純子 画
福音館書店 136P 21cm 1,200円〔日本文学〕

夏休み。読書感想文のために借りた『どっちが家出?』という本。何だか問題を出されているみたいだ。その本の二人の登場人物のどっちが本当の家出なのか、フミにはわからなかった。そこで、作者の熊田文子くまだふみこさんに手紙を書くことにした。

(58) めざせ！給食甲子園

こうやまのりお 著
講談社 173P 20cm 1,200円〔学校給食〕

「せんせい宣誓！私たちは、子どもたちがお昼ごはんを待ちどおしくなる、わくわくする給食をつくることをちか誓います」全国学校給食甲子園決勝大会に集まった選手は、えいようし栄養士の先生や調理員さん。せいげん制限時間は1時間。ふたり一組で「調理スタート！」

(59) ランドセルは海を越えて

内堀タケシ 写真・文
ポプラ社 41P 27×22cm 1,400円〔国際協力〕

長く戦争状態がつづいているアフガニスタンで、私たちが使い終わったじょうぶなランドセルは、カバンとしてはもちろん、机の代わりに使われている。「ランドセルを持って帰ると、学校が家にやってきたみたい。」小学生の宝物になる。

(60) 林業少年

堀米薫 作 スカイエマ 絵
新日本出版社 189P 20cm 1,500円〔日本文学〕

新学期早々、5年生のきじゅ喜樹に出た宿題は、自分の家の職業調べ。うちの家族は公務員、団体職員、農業に林業とばらばらだ。うちは兼業農家けんぎょうだと思ったら、山持ちであることがじまん自慢のりんかじいちゃんのうりんかは、農家と林家を合わせた農林家だという。

(66) 切り株ものがたり

今井恭子 作 吉本宗 画
福音館書店 156P 21cm 1,200円〔日本文学〕

《^{ヤマノシ}山の衆》の少女に人形を持たせてやりたい。修一はこっそり姉の人形を持ち出し、切り株に置いた。人形は少女に渡るが、怒った姉に焼かれてしまう。立ち去った少女を思い胸を痛める修一だが、この一件が彼の運命を大きく変えていく。

(67) ストグレ！

小川智子 著
講談社 255P 20cm 1,400円〔日本文学〕

「セイ！」鋭い突き、そして上段後ろ廻し蹴り。空手が大好きな少女・^{みつき}光希は引越のため、新しい道場をさがす。やっとみつけたのは、工場の2階のポロポロの道場だった。道場主はめったに姿を現わさない。でも、^{みつき}光希はくじけない。

(68) ゾウと旅した戦争の冬

マイケル・モーバーゴ 作 杉田七重 訳
徳間書店 205P 19cm 1,500円〔外国文学〕

人間の安全を守るために殺される動物たち。飼育員の母は子ゾウを守るため家につれて帰る。空襲で燃えあがるドレスデンの町から、リジーたちの逃避行が始まる。一家をなくさめ命を救ったのは、マレーネと名づけられた子ゾウだった。

(69) 浜人(はんもうど)の森2011

及川和男 作 小坂修治 さし絵
本の泉社 125P 20cm 1,400円〔日本文学〕

「^{はんもうど}浜人」とは、浜に生きる人達のこと。三陸海岸の^{おもえ}重茂半島では、^{はんもうど}浜人が山の森を大切に育ててきた。だが巨大な津波が浜の暮らしを奪い、^{ひろと}小学4年の洋人は孤児になった。森で泣いている洋人に、^{じゅれい}樹齢300年の大きなケヤキが語りかける。

(70) バンヤンの木 —ぼくと父さんの嘘—

アーファン・マスター 著 杉田七重 訳
静山社 317P 20cm 1,600円〔外国文学〕

おかしい。何かがやって来る。雨やモンスーンではない、もっととてつもなく大きなもの。1947年6月、北インドのザクロ^{こうじ}小路でぼくは世界が、インドのすべてが変わっていくのを予感した。でも、病気の父さんに言うわけにはいかない。

(71) 光のうつしえ - 廣島 ヒロシマ 広島 Soul-Lanterns -

朽木祥 作

講談社 189P 20cm 1,300円〔日本文学〕

原爆が落とされて25年目の夏のこと。祖母と母と弟で灯籠流しに参加した晩に、希末は見知らぬ老婦人に話しかけられた。誰か知り合いに似ていたのだろうか。広島には、大切な人の死を信じられずに、今でも捜している人がたくさんいる。

(72) ブータンの学校に美術室をつくる

榎本智恵子 著

WAVE出版 163P 22cm 1,400円〔国際協力〕

青年海外協力隊員として、“世界一幸福な国”ブータンへやってきた私。ろう学校で美術教師をするはずが、美術室もなく、道具も材料もない。でも、行き詰まる私の前には、初めての美術教育を心から楽しみにしている子どもたちがいた。

(73) ミサゴのくる谷

ジル・ルイス 作 さくまゆみこ 訳

評論社 278P 21cm 1,600円〔外国文学〕

スコットランドの小さな村の農場に暮らす少年カラム。彼には、誰にも言えない秘密がある。一つは野生のミサゴが農場に巣を作っていること。もう一つは、その秘密をアイオナと共有していること。なぜなら、彼女は特別な子だから。

(74) 森をつくる

C. W ニコル 著

講談社 93P 20cm 1,000円〔森林〕

世界を旅してきた僕は、55歳で日本国籍を取り、日本人になった。なぜ？日本は最も愛する国だから。日本には、祖国イギリスではとっくに姿を消した古代のブナの森があり、そのすばらしい自然を守ってきた日本人がいるからだ。

(75) ローズの小さな図書館

キンバリー・ウィリス・ホルト 作 谷口由美子 訳

徳間書店 254P 19cm 1,600円〔外国文学〕

1939年、アメリカの片田舎。14歳のローズは家族のために年をごまかし、移動図書館の運転手として働くことに。「このバスの本はルイジアナで一番たくさんあちこち旅しているんだな。」ローズは、この仕事に魅力を感じ始めた。

選 定 委 員

江 上 道 子	(越木岩幼稚園)
織 田 悦 子	(生瀬幼稚園)
小 河 内 めぐみ	(高須西幼稚園)
澤 雅 恵	(名塩幼稚園)
木 村 晶 子	(段上西小学校)
小 林 陽 子	(鳴尾小学校)
佐々木 淑 子	(元・広田小学校)
里 見 悦 子	(香櫨園小学校)
塩 野 恵 子	(北夙川小学校)
重 田 景 子	(安井小学校)
田 中 恭 子	(夙川小学校)
田 村 佳 子	(元・上甲子園小学校)
長 瀬 嘉 代	(元・山口小学校)
馬 場 映 子	(東山台小学校)
福 原 優 子	(甲陽園小学校)
上 田 綾 子	(今津中学校)
桑 原 美 和	(上ヶ原中学校)
高 品 英 子	(真砂中学校)
高 田 直 子	(浜脇中学校)
谷 本 祥 江	(浜脇中学校)
富 江 洋 子	(元・甲陵中学校)
榎 岡 みゆき	(瓦木中学校)
若 松 千 春	(上甲子園中学校)
加 島 知 子	(中央図書館)
後 藤 知加子	(中央図書館)
清 水 良 子	(中央図書館)
堀 田 かよこ	(中央図書館)

